



港区議会議員・建設常任委員会委員長

自民党港区総支部政務調査会長・自民党議員団政務調査会長

清原 かずゆき

区政レポート

平成 28 年 4 月発行

平成 28 年第 1 回定例会は、2 月 17 日に開会され、3 月 15 日に閉会しました。会期中には、平成 28 年度の一般会計、3 特別会計の予算案を審議する予算特別委員会が設けられ、私は、委員長を拝命しました。委員会の審議日数は 9 日間で、約 34 時間に及ぶ審議が行われ、平成 28 年度当初予算案は、3 月 15 日の本会議で、賛成多数により可決されました。

私は、区議会議員として、区民の皆様からお預かりした税金や保険料などが、区民のため有効に活用されているか、常にその動向を注視することはもとより、行財政改革や福祉をはじめとした各行政分野の充実や向上に取組み、区民の誰もが安全で安心して住み続けられる港区づくりに真摯に努めて参ります。紙面には、私の平成 26 年度決算特別委員会での質問、及び平成 27 年第 4 回定例会における自民党議員団を代表しての質問を掲載させていただきました。ご一読いただければ幸いです。

今後とも、皆様の忌憚のない貴重なご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

区議会等での経歴

平成 27 年 4 月、3 期目選出

現在◆建設常任委員会 委員長

交通・環境等対策特別委員会 委員

エレベーター等対策特別委員会 委員

自民党議員団政務調査会長

◆自民党港区総支部政務調査会長

経歴◆港区監査委員(議会選出)

区民文教常任委員会委員長

総務、保健福祉、建設常任委員会委員

行財政等、まちづくり・子育て等、東京オリンピック

・パラリンピック対策特別委員会委員

◆自民党議員団副幹事長、政務調査会副会長

◆港区中小企業振興審議会委員、港区中小企業融

資斡旋審査会委員、港区奨学資金運営協議会委

員、港区青少年問題協議会委員、港区消防団運

営委員会委員

◆自民党港区総支部総務会長、事務局長代理

プロフィール

経歴◆昭和 34 年 7 月 2 日 白金生まれ 56 歳

聖徳学園三田幼稚園

区立三光小学校、区立朝日中学校、

都立三田高校、

昭和 57 年 日本大学理工学部卒業

◆元都議会議員清原錬太郎秘書(20 有余年)

◆元港区立三光小学校 PTA 会長(3 期 3 年)

現在◆清原タレット工業所 清原マンション経営

◆芝納税貯蓄組合連合会 常任理事

芝青色申告会 理事

白金地区防災協議会委員(元会計監査)

青少年対策白金地区委員会相談役(元会計監査)

高輪工業会 理事、第三分会 副分会長

白金三光町会 副会長

趣味◆野球(元三光シニア、元ファミリーズに所属)

サッカー(朝日中、三田高校サッカー部に所属)

日曜大工

◆平成 26 年度 決算特別委員会 質問項目

(平成 27 年 9 月 11 日～10 月 7 日)

- (1) 白金の丘学園の開校により、閉校した神応小学校の管理及び活用と今後の施設開放について
- (2) 職員の研修の機会や充実が必要と考えるが
- (3) 地域の特性に沿った避難所運営マニュアルについて
- (4) 職員と地域防災協議会が一体となった運営訓練の必要性について
- (5) 備蓄物資の維持管理について

(6) 避難所等との情報連絡体制の確立について

(7) 訪問により支援に繋げた「ふれあい相談員」事業件数と受けることになった主な内容と今後の検討課題について

(8) 区が感染を防ぎ、その拡散を防ぐ防疫体制について

(9) 幼稚園や小中学校で挨拶の習慣を身に付ける指導について

(10) 健全な心と体を育成する教育の一環として食育への取組について

◆平成 27 年第 4 回定例会・自民党議員団 代表質問◆

(1) 財政運営と基盤の確立について

① 将来を見据えた財政運営について

答弁(区長) あらゆる世代が将来にわたって安心できる財政運営を堅持していく。

② 債権放棄の進捗状況について

答弁(区長) やむなく徴収不能となった私債権については、放棄の手続きを適正に進めていく。

③ 適正な債権管理のための人材育成の取組について

答弁(区長) 適正な債権管理ができる人材を育成していく。

(2) マイナンバー制度について

① 個人番号カード交付申請に係る区の対応について

答弁(区長) 詐欺事件の発生を防ぐため、緊急情報を区設掲示板や、いきいきプラザ等の区有施設に掲示して情報提供と注意喚起をしている。引き続き、情報提供に努めるとともに、丁寧に案内をしていく。

② マイナンバー制度の導入により期待される効果は

答弁(区長) 平成 29 年 1 月からは、「マイナポータル」が開設され、行政サービスの対象となる方へ、必要な情報を確実にお届けすることも可能となる。制度の効果的な運用に取組んでいく。

(3) スタンドパイプの配備について

答弁(区長) 消防署の意見も伺いながら、必要と考えられる防災会へ早急に配備を進めていく。

(4) 港区史の編さんと刊行について

答弁(区長) 新たな港区史の刊行に向けて取組む。

(5) 区内中小企業の活力維持と活性化に向けた取組は

① 融資あっせん事業について

答弁(区長) 区内中小企業が安定的に事業経営を進め、積極的に設備投資等を図れるよう努めていく。

② 中小企業の人材育成について

答弁(区長) 東京商工会議所や民間企業などが実施する事業との連携、協力も視野に入れて、これからの区内中小企業を支える人材の育成に、より一層積極的に取組んでいく。

(6) 街路樹の整備による快適なまちづくりについて

答弁(区長) 街路樹のより一層の充実を図りながら、快適なまちづくりを推進していく。

(7) 子ども・子育て支援施策の整備と強化について

① 保育園と学童クラブの定員確保について

答弁(区長) 保育園は本年 4 月に向けて 296 名の定員拡大、総定員を 7026 名とする。学童クラブは本年 4 月に向けて、201 名の定員拡大の予定、総定員を

2670 名とする。

② 病児・病後児保育の充実について

答弁(区長) 自宅に保育者を派遣して保育を行う訪問型病児保育事業の実施について、検討していく。

(8) 高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる取組について

答弁(区長) 学識経験者や医師などの外部有識者による「港区地域包括ケアシステム推進会議」における協議を踏まえ、港区ならではの地域包括ケアシステムを実現していく。

(9) 精神障害者の緊急一時保護について

答弁(区長) 今後、精神障害者が緊急一時保護を必要とする実態の把握に努めるとともに、事業の実施に向けて検討していく。

(10) 教育について

① 理科教育について

答弁(教育長) 「理科教育の先進的な取組を紹介する実践事例集」を指導室において作成するなど、子どもたちの科学的な思考がより高まるよう、理科教育のさらなる充実に努めていく。

② 租税教育について

答弁(教育長) 税理士や会計士など専門家による租税教室や税務署への職場訪問について各校に実施するよう働きかける等、租税教育を一層充実していく。

(11) 平成 28 年度の予算編成について

答弁(区長) 平成 28 年度は、港区基本計画に計上した事業を着実に推進するとともに、現在策定を進めている港区まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、全国の自治体との連携の強化や、若い世代の結婚を応援する取組等、港区ならではの地方創生を推進していく。

平成 28 年度予算においては、こうした取組を推進するために 3 つの重点施策を掲げた。世界をリードする都市の魅力を発展・成熟させていくための取組、子どもの健やかな成長に向けた取組、誰もが住み慣れた地域で心豊かに暮らせるための取組に、財源を優先的に配分し、「安全で安心して暮らせる、夢と希望に満ちた港区の未来を創り上げるための予算」として、編成していく。

清原 和幸 事務所 〒108-0072 白金 3-18-12
携帯電話番号 090-5396-5858
電話番号 03-3444-6541
港区議会ホームページ
<http://www.gikai.minato.tokyo.jp>